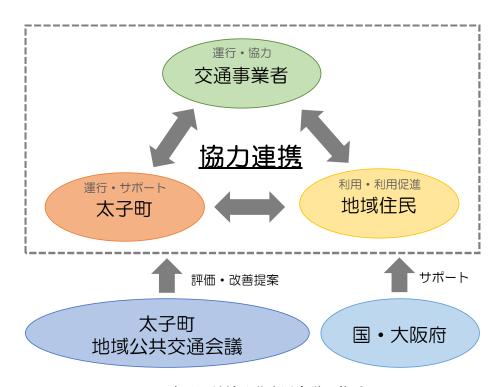
### 9. 計画の達成状況の評価

#### 9-1. 評価体系

### (1) 体系

地域公共交通会議を継続し、地域公共交通の利用状況を定期的かつ適正に評価し、地域の公共交通の維持に努めます。



▲ 太子町地域公共交通会議の体系

### (2) 評価の考え方

本計画で設定した目標を達成するため、5年間の計画を通じた評価に加え、施策の取組 状況や社会情勢の変化を踏まえ、1年単位での指標の把握や評価を行い、見直しも実施し ます。

これまで行政計画の進捗管理に活用されていた PDCA サイクルに加え、常に変化・改善が求められる公共交通の分野であることから、00DA ループを用いた評価を行います。

PDCAでは、当初立てたPlanがスタートとなり、進行中の管理・監視が最重要視されるため、プロセスが重要視されます。このような特徴を持つPDCAに比べて、00DAは観察やそれにともなう状況判断に重きを置いており、多様化する市民ニーズや変化の速い社会情勢に対応する柔軟な判断や迅速な実行が最優先となります。

目標を達成していない場合は、さらなる利用促進、運行形態の見直し等、達成するよう関係者一同において努力をしていきます。

# 地域公共交通施策

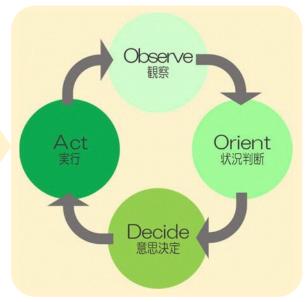
長期的な見直しし

短期的な見直し

# PDCA プロセスを重視する

# OODA 状況判断を重視する





#### PDCA とは

- Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善)の頭文字をとったものです。
- ・目標を達成するための要素を 4 つの 段階に分けて成功に導く方法を示し たもので、これらを繰り返し実行し ます。
- ・Plan:目標をたて、それを実行するための施策を計画します。
- ・Do:上記の計画に沿って、施策を実行していきます。
- ・Check:。施策の実行により目標が達成できているかを評価し、良かった、 点と悪かった点を分析します。
- ・Action: 評価結果に基づき、良かった 点は継続し、悪かった点は施策を見 直します。

#### OODA とは

- ・Observe (観察)、Orient (状況判断、 方向づけ)、Decide (意思決定)、Act (行動) の頭文字をとったもので、 分かりやすくいうと「みる」「わかる」 「きめる」「うごく」となります。
- ・目標を達成するための要素を 4 つの 段階に分けて成功に導く方法を示し たもので、これらを繰り返し実行し ます。
- Observe: 相手(対象や状況)をよく 観察します。客観的なデータを収集 します。
- ・Orient:上記の観察結果に基づき、状況を判断し、方向付けを行います。
- ・Decide:今後の具体的な方針や行動 プランを策定します。
- ·Act:実際の行動となります。

# 9-2. 評価基準

毎年、各種指標の把握・分析を行い、計画最終年の目標に向けた適切な各施策の実施に 取り組みます。

- ① 最終計画年の5年後に目標ごとの指標を評価《PDCA》
- ② 毎年、施策推進のための指標を評価(利用や人に視点をおいた指標を重視)《00DA》 なお、評価基準については、実証運行の結果を踏まえ、見直しを行う。

### ▼ 計画全体の評価指標

指標	数値目標	計測方法
公共交通の利用	【現況】	利用者数調査
者数	太子線、太子葉室循環線の乗車人数計	
≪OODA»	平日:700人/日 休日:520人/日	
	(H30 年度調査結果)	
	【目標】	
	太子線、太子葉室循環線、新規検討路線(基幹交	
	通・支線交通)の乗車人数合計	
	平日:1,000 人/日 休日:700 人/日	
収支割合	【目標】	支出・収入情報
≪OODA»	新規検討路線の収支率:20%	
他部局の評価	【目標】	ヒアリング調査
⟨⟨OODA⟩⟩	他部局へのヒアリング	
	まちづくりへの貢献度:8割以上	
公共交通空白不	【現況】	バスルート図
便地域の有無	聖和台・磯長台地域、畑・山田地域の一部	
≪PDCA»	【目標】	
	解消	

# ▼ 各目標・施策に関する評価指標

目標   施策   指標   数値目標   計測方法   目標   注較   近水   近水   近水   近水   近水   近水   近水   近	· PILLON APPLICATION OF HIMMARIAN						
<ul> <li>離もが利用できる地域公共交通網の形成</li> <li>支線交通のの形成</li> <li>支線交通のの確保</li> <li>支線交通の確保</li> <li>支線交通の確保</li> <li>支線交通の確保</li> <li>大れ本数 (PDCA)</li> <li>(PDCA)</li> <li>(PDCA)</li></ul>	目標	施策	指標	数値目標	計測方法		
域への乗り 入れ本数	目標 1	基幹交通の	公共交通空	【現況】	時刻表		
公共交通網	誰もが利用	強化	白・不便地	聖和台・磯長台地域			
の形成         《PDCA》         聖和台・磯長台地域 平日:1本/1時間 休日:1本/1時間 時刻表 知・山田地域 平日:0便 休日:0便 【目標】 場を記し、 の強化         時刻表 畑・山田地域 平日:1本/1時間 休日:1本/1時間 「日標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度」 :6割以上         アンケー ト           乗換え拠点 の強化         (PDCA》         【目標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度」 :6割以上         アンケー ト           機局辺のバス待ち空間の快適度 :6割以上         時刻表 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便 【目標】 と機周辺 平日:80 便 休日:65 便         時刻表           本数 《PDCA》 《PDCA》         【目標】 基幹交通と支線交通の接続本数 :1本/1時間         時刻表           利用しやすい交通の確 保         《PDCA》 定時性の満足度 《PDCA》         【目標】 下ンケー 満足度:6割以上         アンケー 満足度:6割以上           交通弱者に 対する移動         《PDCA》 《PDCA》         【目標】 高齢者等の満足度:6割以上         アンケー ト	できる地域		域への乗り	平日:0便 休日:0便			
支線交通の確保     公共交通空白・不便地域への乗り入れ本数 (PDCA)     (PDCA)     時刻表 (PDCA)       乗換え拠点の強化     (PDCA)     (PDCA	公共交通網		入れ本数	【目標】			
支線交通の確保     公共交通空白・不便地域への乗り入れ本数 (PDCA)     畑・山田地域平日:0便 休日:0便 【目標】 畑・山田地域平日:1本/1時間 休日:1本/1時間 休日:1本/1時間 株日:1本/1時間 株日:1本/1時間 株日:1本/1時間 「アンケート」 (基別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場	の形成		≪PDCA»	聖和台・磯長台地域			
支線交通の確保     公共交通空白・不便地域への乗り入れ本数 (PDCA)     畑・山田地域平日:0便 休日:0便 【目標】 畑・山田地域平日:1本/1時間 休日:1本/1時間 休日:1本/1時間 株日:1本/1時間 株日:1本/1時間 株日:1本/1時間 「アンケート」 (基別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場別) (場				平日:1本/1時間 休日:1本/1時間			
域への乗り 入れ本数 《PDCA》     平日:0便 休日:0便 【目標】 畑・山田地域 平日:1本/1時間 休日:1本/1時間       乗換え拠点 の強化     快適度 《PDCA》     「目標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度 :6割以上     アンケー ト       拠点施設へ の乗り入れ 本数 《PDCA》     【現況】 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便 【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便     時刻表       基幹交通と 支線交通の 接続本数 《PDCA》     【目標】 上本/1時間     時刻表       利用しやす い交通の確 保     【目標】 《PDCA》 定時性の満 足度 《PDCA》     アンケー ト       交通弱者に 対する移動     【目標】 、アンケー 、満足度 、《PDCA》     アンケー ト       高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト       「目標】 、アンケー 、高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト		支線交通の	公共交通空		時刻表		
域への乗り 入れ本数 《PDCA》     平日:0便 休日:0便 【目標】 畑・山田地域 平日:1本/1時間 休日:1本/1時間       乗換え拠点 の強化     快適度 《PDCA》     「目標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度 :6割以上     アンケー ト       拠点施設へ の乗り入れ 本数 《PDCA》     【現況】 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便 【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便     時刻表       基幹交通と 支線交通の 接続本数 《PDCA》     【目標】 上本/1時間     時刻表       利用しやす い交通の確 保     【目標】 《PDCA》 定時性の満 足度 《PDCA》     アンケー ト       交通弱者に 対する移動     【目標】 、アンケー 、満足度 、《PDCA》     アンケー ト       高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト       「目標】 、アンケー 、高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト		確保	白・不便地	畑・山田地域			
A、							
## 中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国			入れ本数				
乗換え拠点の強化     快適度 《PDCA》     【目標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度 :6 割以上     アンケート ト       拠点施設への乗り入れ本数 《PDCA》     【現況】 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便 【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便     時刻表       基幹交通と支線交通の接続本数。(PDCA》     【目標】 ・ 下刻表     下シケート       利用しやすい交通の確保     《PDCA》     【目標】 ・ 下ンケート     アンケート       保     【目標】 ・ 下ンケート     アンケート       交通弱者に対する移動     満足度 《PDCA》     【目標】 ・ 下ンケート     アンケート       高齢者等の満足度:6割以上     アンケート       高齢者等の満足度:6割以上     アンケート							
乗換え拠点 の強化     快適度 《PDCA》     【目標】 役場周辺のバス待ち空間の快適度 :6 割以上     アンケー ト       拠点施設へ の乗り入れ 本数 《PDCA》     【現況】 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便 【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便     時刻表       基幹交通と 支線交通の 接続本数 《PDCA》     【目標】 《PDCA》     時刻表       利用しやす い交通の確 保     理解度 《PDCA》     「目標】 定時性の満足度 《PDCA》     アンケー ト       交通弱者に 対する移動     満足度 《PDCA》     「目標】 清足度 《PDCA》     アンケー ト       交通弱者に 対する移動     満足度 《PDCA》     「目標】 高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト							
の強化       《PDCA》       役場周辺のバス待ち空間の快適度 :6割以上       ト         拠点施設へ の乗り入れ 本数 《PDCA》       【現況】 役場周辺 平日:56 便 休日:47 便       時刻表         【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便       時刻表         基幹交通と 支線交通の 接続本数 《PDCA》       【目標】 ※PDCA》       下ンケート         利用しやすい交通の確 保       《PDCA》 定時性の満足度 《PDCA》       【目標】 定時性の満足度:6割以上       アンケート         交通弱者に 対する移動       《PDCA》       【目標】 高齢者等の満足度:6割以上       アンケート		乗換え拠点	快適度		アンケー		
: 6割以上         拠点施設への乗り入れ本数 で日:56便 休日:47便         でPDCA》         を場所のです。 では、 1 を 1 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2 を 3 を 3 を 4 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4					·		
<ul> <li>拠点施設への乗り入れを数 で</li></ul>		32112	((= = ===//		,		
の乗り入れ 本数			拠点施設へ		時刻表		
本数 《PDCA》  平日:56 便 休日:47 便 【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便  基幹交通と 支線交通の 接続本数 :1 本/1 時間  利用しやす い交通の確 保PDCA》 【目標】 で時性の満 足度 《PDCA》  交通弱者に 対する移動 《PDCA》  「目標】 でアンケー 満足度:6割以上 「アンケート 満足度:6割以上 「アンケート 高齢者等の満足度:6割以上 「アンケート			**		12.424		
【目標】 役場周辺 平日:80 便 休日:65 便  基幹交通と 支線交通の 接続本数 《PDCA》  利用しやす い交通の確 《PDCA》  程解度 《PDCA》  「目標】 アンケー ・ い交通の確 《PDCA》  「目標】 で サンケー ・ に で時性の満 ・ 定時性の満 ・ 足度 《PDCA》  交通弱者に 対する移動 《PDCA》  「目標】 アンケー ・ に で サール に で で で で で で で で で で で で で で で で で で							
役場周辺       平日:80 便 休日:65 便       基幹交通と 支線交通の 接続本数 (PDCA)     【目標】 (PDCA)     時刻表       利用しやすい交通の確保のである。 (PDCA)     【目標】 (PDCA)     アンケート       保     【目標】 (PDCA)     アンケート       交通弱者に対する移動(PDCA)     【目標】 (PDCA)     アンケートト       高齢者等の満足度:6割以上     アンケートト       高齢者等の満足度:6割以上     アンケートト			,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			
平日:80 便 休日:65 便         基幹交通と 支線交通の 接続本数 (%PDCA)       ま幹交通と支線交通の接続本数 :1本/1時間       ドックー 下ので通の確 (PDCA)       で時性の満足度:6割以上       アンケート 下ンケート         保       で通弱者に 対する移動       (PDCA)       【目標】							
基幹交通と 支線交通の 接続本数 (PDCA)目標】 理解度 (PDCA)ドックー 理解度:6割以上アンケー ト保定時性の満足度:6割以上アンケー ト交通弱者に対する移動【目標】 《PDCA》アンケー 満足度:6割以上アンケー ト対する移動【目標】 アンケー 高齢者等の満足度:6割以上アンケー ト							
接続本数 (PDCA) (PDCA) (I = 標] アンケーい交通の確 (PDCA) 理解度:6割以上 ト (アンケーレ・ 定時性の満足度:6割以上 ト (アDCA) 満足度:6割以上 ト (アDCA) で通弱者に 満足度 【目標】 アンケーカする移動 (PDCA) 高齢者等の満足度:6割以上 ト			基幹交通と		時刻表		
接続本数 (PDCA) (PDCA) (I = 標] アンケーい交通の確 (PDCA) 理解度:6割以上 ト (アンケーレ・ 定時性の満足度:6割以上 ト (アDCA) 満足度:6割以上 ト (アDCA) で通弱者に 満足度 【目標】 アンケーカする移動 (PDCA) 高齢者等の満足度:6割以上 ト							
利用しやすい交通の確にい交通の確に保       理解度 (目標) アンケート 理解度:6割以上 トール で時性の満足度:6割以上 トール では、 (PDCA) 満足度:6割以上 トール では、 (PDCA) で通弱者に 満足度 (目標) アンケート 対する移動 (PDCA) 高齢者等の満足度:6割以上 トール では、 (PDCA) により では、 (PDCA) により では、 (PDCA) には、 (PDCA) には							
利用しやす い交通の確 保       理解度 《PDCA》       【目標】 理解度:6割以上 定時性の満 足度 《PDCA》       アンケー 市 満足度:6割以上 《PDCA》       アンケー ト         交通弱者に 対する移動       満足度 《PDCA》       【目標】 高齢者等の満足度:6割以上       アンケー ト			⟨⟨PDCA⟩⟩				
い交通の確保       《PDCA》       理解度:6割以上       ト         定時性の満足度       【目標】       アンケート         定度       満足度:6割以上       ト         交通弱者に対する移動 《PDCA》       【目標】       アンケート         高齢者等の満足度:6割以上       ト		利用しやす		【目標】	アンケー		
保     定時性の満足度:6割以上 満足度:6割以上 満足度:6割以上 満足度:6割以上 トークリークラー 満足度 高齢者等の満足度:6割以上 トークリークラー おする移動 《PDCA》 高齢者等の満足度:6割以上 トークラー トークラー トークラー スティークラー スティーク				- · · · · · · · · · ·			
足度 《PDCA》     満足度:6割以上     ト       交通弱者に 対する移動 (PDCA)     【目標】 高齢者等の満足度:6割以上     アンケー ト					アンケー		
交通弱者に       満足度       【目標】       アンケー         対する移動       《PDCA》       高齢者等の満足度:6割以上       ト			' = ' ' ' ' '	- · · · · · · · · · ·			
交通弱者に 対する移動満足度 《PDCA》【目標】 高齢者等の満足度:6割以上アンケート							
対する移動 《PDCA》 高齢者等の満足度:6割以上 ト		交通弱者に		【目標】	アンケー		
				= · · · · · · · · -			
		支援					

目標	施策	指標	数値目標	計測方法
目標2 みんなで支 える地域公 共交通の活 性化	継続に向け た体制づく り	継続に向け た体制づく りの実施回 数 《PDCA》	【目標】 公共交通に関する意見交換会、検討 会、会議等の開催回数 :3回/年	実績をカウント
	モビリティ マネンジメ ントの推進	情報発信回 数 《PDCA》	【目標】 時刻表冊子の配布、HP情報発信等 :3回/年	実績をカウント
		情報発信の 理解度 《PDCA》	【目標】 情報発信の理解度:6割以上	アンケート
		公共交通を 利用するさく りの実施回 数	【目標】 イベントでの利用促進等の開催回数 :1回/年	実績をカウント
		《PDCA》 教育機関と 連携したイ ベントの実 施回数 《PDCA》	【目標】 バスの乗り方教室等の開催回数 :1回/年	実績をカウント
目標3 地域公共交 通を活用し	観光施設等との連携	観光施設の 利用者数 《00DA》	【目標】 観光施設(年間竹内街道歴史資料館) 公共交通での来訪者割合:10%	ヒアリン グ調査
た多様な人の交流	商業施設へ のアクセス 強化	商業施設周 辺バス停で の降者数 《OODA》	【現況】 商業施設の周辺バス停での降車数 平日:34人/日 休日:13人/日 (太子四ツ辻での降車数) 【目標】 商業施設の周辺バス停での降車数 平日:50人/日 休日:20人/日 (太子四ツ辻と商業施設周辺バス停 での降車数)	利用者数調查
	高齢者等の 外出支援促 進	高齢者の外 出 《PDCA》	【現況】 65 歳以上:60.3% (平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査) 【目標】 65 歳以上:60.3% 《現状維持》	アンケート

#### 参考 SDGs の取組み

## 【SDGsとは】

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された国際目標です。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする170国際目標で、その下に、1690ターゲット、2320指標が定められています。

発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むべき課題であること、また、自治体を含めた様々なステークホルダーが取り組むべき目標とされています。



### 目標「11.住み続けられるまちづくりを」

持続可能な都市は、持続可能な開発のための 2030 アジェンダを構成する 17 のグローバル目標の一つです。複数の目標を同時に達成するためには、包括的なアプローチが必要不可欠です。

そのために本計画では、地域公共交通の視点から持続可能なまちづくりにアプローチを行っています。計画策定で終わりではなく、PDCAやOODAに則り、継続的に見直しを行い、持続可能なまちづくりに貢献します。